

平成 30 年度
金沢大学ステークホルダー協議会
実施報告書

平成 30 年 7 月
国立大学法人金沢大学

概 要

日 時：平成 30 年 7 月 7 日（土） 16：00～18：30

会 場：本多の森会議室〔金沢市石引 4-17-1〕

協議会：第一会議室（1F）、交流会：第三会議室（2F）

プログラム：

16:00 開会
16:03 挨拶・近況報告
16:25 意見交換
17:35 交流会

出席者数：124 名

【内訳】

学外：54 名

卒業生 4 名，高等学校 6 名，自治体 5 名，
企業等 12 名，地域 7 名，保護者 6 名，
元事務職員 5 名，報道機関 2 名，
国際交流関係 5 名，経営協議会委員 2 名

学内：46 名

学生 19 名，教職員 27 名（うち事務スタッフ 14 名）

学内列席者：24 名

ステークホルダーのご意見

学生

- ①授業の英語化を進めているとのことだが、全ての授業を英語化するのか。一律に英語化した場合、学生が授業内容を把握できない状況にならないか。
- ②英語化の対象から除く場合、その判断基準はあるのか。

金沢大学の回答

- ①授業の英語化に関しては、全ての授業が対象ではなく、日本語で行うことに意味があるものは、英語化の対象から除いている。学生の授業の理解に関して、学士課程の学生は、授業の理解を疎かにしないことが第一であり、英語化の数値目標が第一の目標ではないと思っている。
- ②現場の先生の意見を聞いて、英語化の対象から除くかどうかを決めている。国家試験に関わるような授業、法学系の授業、日本文学、歴史文化などを想定しているが、現場の先生の意見を尊重しつつ決めている。

企業関係者

- ①地元就職しない傾向のある学生を、いかに地元就職させるか。優秀な学生を地元に着させたいと思っている。大学で認識している就職の傾向があればお聞きしたい。
- ②学類教育の再編により、新しい学類を新設したことを伺ったが、今後、文系・理系で新しく取り組む分野があれば伺いたい。

金沢大学の回答

- ①学生は大企業や都市圏の企業に就職を希望する傾向にある。地域企業としっかり連携してインターンシップ等を行いながら、この地域が必要とする人材が地域に定着するための取り組みを進め、企業の皆様と一緒に産業振興に寄与していきたい。
- ②文理融合型の人材育成を目指していきたい。専門的に特化したスキルも必要だが、マネージングやシステム設計など取りまとめるスキルが求められているので、大学としての役割をしっかり果たしたい。

高校関係

学校教育学類以外の学類における教員養成をどう考えているのか。

金沢大学の回答

- ①本学は石川県の教員養成をこれまでどおり、しっかりと進めていく。また、学校教育学類以外の教員養成でも、質の高い教員養成を目指している。
学生が現場に出た時に戸惑わないよう、精神的な強さが必要である。富山大学、福井大学とも協力して、地域の教員養成機能は持ち続けたい。

国際関係

金沢大学ではリエゾンオフィスを発展途上国にも持っているが、大学として途上国の発展を支援するような方向性をもっているのか。

金沢大学の回答

研究の実績と関連付けて、地域や国際貢献に生かしたい。また、学生のトレーニングの場になるのであれば、途上国にも派遣させたい。

卒業生関係

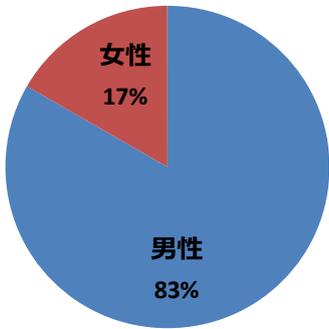
- ①法科大学院の存続は死守してほしい。日本海側唯一の大学として残していただきたい。
- ②以前行われていたバストリガー方式は成功だったのかどうか伺いたい。北鉄バス側の考えもあると思うが、もう一度、大学と行政が協力して、北鉄バスと交渉してはどうか。
- ③キャンパスの在り様として、人がより集まるような「きれいなキャンパス」をお願いしたい。

金沢大学の回答

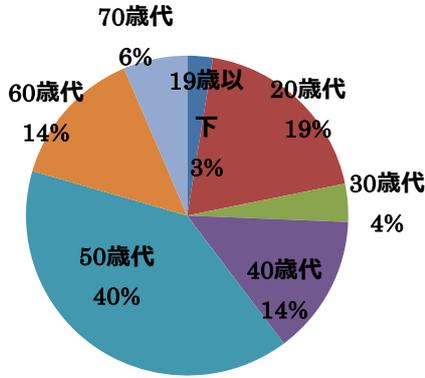
- ①これまで、学部の上にある大学院と法科大学院を区別していたが、一緒にする方向で検討が進んでいる。学生の地方公務員を目指す傾向に対応しながら、大学院への進学を増やしたい。そのためには奨学金も整備したい。
- ②北鉄バスへの願いは継続して行っている。バストリガーの成果については大学と北鉄バスの間で認識に齟齬がある。今後は行政の力も借りて北鉄バスと交渉したいと考えている。
- ③里山の整備に関しては各機関・団体の協力を得ながら行っているが、キャンパスが広大なため、下草刈りも全てに手が回らず、「美しいキャンパス」と呼べるにはまだ遠いという現状であるが、いずれはそう呼ばれるようにしたい。

アンケート結果 回収件数〔回収率〕：78件〔90%〕

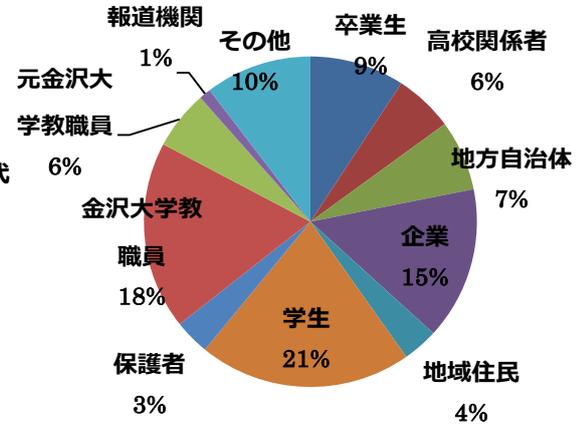
【1】性別



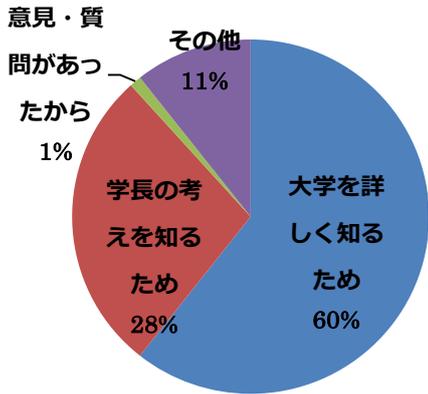
【2】年齢



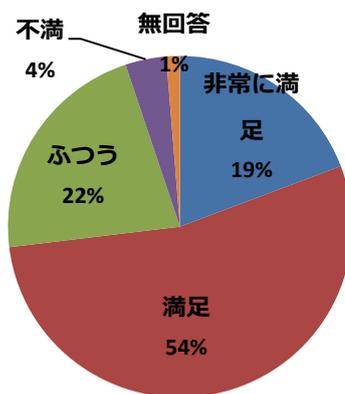
【3】大学との関係区分



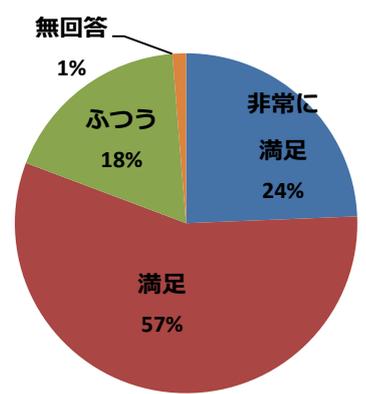
【4】参加目的



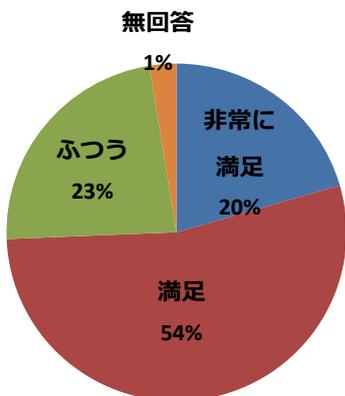
【5】近況報告について



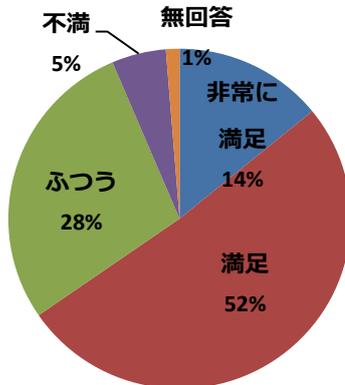
【6】配付資料について



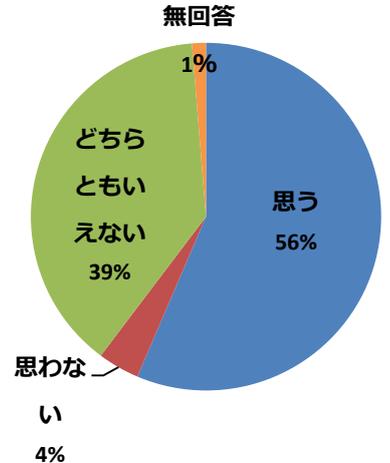
【7】質問への対応について



【8】進行について



【9】次回の参加希望について



【10】ステークホルダー協議会についての主な意見

- ・年に1度このような機会をもつことは大変有意義であると思います。今後とも継続していただきたいと思います。
- ・日頃は新聞等を通してしか大学のニュースを知ることができないので、直接このように詳しく大学の情報を得ることができ、ましてや、いろいろと意見交換ができる場はなかなかないので継続してほしい。
- ・進行自体は満足だが、質問が少なく盛り上がりには欠けた。次年度は、学生には、質問を考えて臨むようにとの指導が必要なのでは。
- ・近況報告の時間をもう少し長くしていただけたらより大学のことを理解できたと思います。
- ・フロアから質問、意見がもっと出たらよいかと感じました。
- ・事前に質問を募集して、当日に回答してもよいかと思います。
- ・質問がなければ、大学のお聞きになりたい点について逆に質問してみてもいいでしょうか。
- ・大学の関係者の皆様が並んでいて、近寄りやすい印象をうけます。もっと気軽なオープンな雰囲気生まれる会場構造が望まれます。

【11】金沢大学に対する主な意見

- ・留学生の受け入れについて、留学生の内、比例が多い私費留学生に対して、国費がもらえない。留学の意欲がある優秀な学生に対して、経済支援付きや優先配置などのプログラムがあればいいと思う。
- ・英語での講義 50% 100%という目標について、日本人である以上、日本語で思考するわけですから講義レベルの低下を必然的に招いてしまうのでは…数値のみを追い続けるべきではないと思います。
- ・引き続き北陸地区における教員養成の中核を担っていただきたい。
- ・高大連携において高校側のニーズは細分化専門化する方向にありますが可能な限り対応していただけるとありがたい。
- ・2021年度入試の金沢大学としての方向性を早くお知らせいただきたい。
- ・後期一括の学生が有意義な学習を行えるようにしてほしい。学類振り分けの決定法の検討をGPAで決めるのも間違いではないが、単位目的の学習が本当の「学び」であるのかは疑問である。
- ・バスの本数や値段等、更に学生が利用しやすいようになるとうれしいです。
- ・金沢大学の公認サークルという名目であるが、サークル活動を本当に認めてもらえているのか疑問に思うことがある。年々活動（活動場所、物品請求、新歓活動、駐車場等）の縮小を余儀なくされているように感じる。あくまで大学は学びの場であるが、学生生活の充実も学びを充実させる上で必要でないのか。資金的問題だとしても、お金をかけずに解決はできないのか。
- ・古い棟（北地区）と新しい棟（南地区）との格差が激しい。せめてトイレくらいはしっかりと明かりと設備を更新してほしい。



発行・編集 金沢大学総務部
〒920-1192 金沢市角間町 電話 076-264-5111